

# 音楽療法 自作の歌で

## 名古屋の病院 認知症カフェ参加者ら

音楽で心を癒やし、認知症の治療・予防に役立てる「音楽療法」が、名古屋市中村区の偕行会城西病院で行われている。認知症カフェの活動の一環で、参加する認知症のお年寄りらが、歌詞を考えたオリジナル曲「いつまでもこの町で」を制作し、CDも完成した。みんなで楽しく歌うほか、CDを新しい参加者にも無料で配布している。

(沢村宣樹)

## CD制作、無料配布



堀内さん（左）の演奏に合わせて、元気よく歌う参加者

同病院内に2015年10月、認知症カフェ「ほっとカフェ じょうさい」がオープンし、お年寄りや家族、地域住民らが交流する場となっている。昨年5月に認知症を治療する「物忘れ外来」の診察を始めたのを機に、認知症カフェで音楽療法を取り入れた。

音楽療法は、名古屋音楽大学を卒業した音楽療法士・堀内裕美子さん(23)が講師を務める。堀内さんが弾くピアノやギターに合わせて、参加者が斉唱する。「ふ

るさ」となどの名曲や懐メロを歌う中、堀内さんが「いい声されてますね」「自信を持って歌って」などと盛り上げていた。

昨年5月の参加者は延べ64人だったが、昨年12月には延べ約250人となった。そんな中、「歌を作ろう」と話が盛り上がり、昨夏頃から参加者が作詞を始めた。

曲は「重い腰上げて どっこいしょどっこいしょ」と体が思うように動かない気持ちや素直に表現したほか、「信長秀吉 清正も歴史ある町 ロマンだな」と、地元ゆかりの戦国武将や名所の歌詞を考えた。作曲は堀内さんが担当し、昔ながらの童謡のようなゆったりとしたメロディーに仕上げた。

曲作りに参加した無職小原満孝さん(83)は「自分の考えた歌詞が採用されるなんて、人生で初めて。歌いやすくて、すぐ覚えられる。多くの人と一緒に歌うのが楽しい」と笑顔を見せた。

こちらの記事は発行元の許可を得て掲載しております。

2018年1月26日 読売新聞朝刊に掲載。

許可番号 No.1172659

CDには、堀内さんの歌や病院スタッフの斉唱など計4曲が収録され、参加者らに無料で配った。堀内さんは「自分たちが作ったという思い入れがあり、この曲を歌うと、みんな元気になりますよ」と話した。

認知症カフェは平日午前10時～午後3時。音楽療法は月、火、木、金曜の午前10時～正午。参加無料。誰でも参加できる。問い合わせは同病院総合相談窓口フリーダイヤル(0120・541・605)。